

新型 BMW 2 シリーズ クーペ

目次



市場導入時のモデル・バリエーション	2
車両コンセプト	
プレミアム・コンパクト・セグメントにおける運動性能の新たな次元	4
デザイン	
純粋な駆け抜ける喜びを表現するアスリートのフォルム	9
サスペンション・システムと走行体験	
驚きを生むパフォーマンスを徹底的に追及した開発	16
エンジン、トランスミッション、そして BMW xDrive	
6 気筒および後輪駆動による比類のないスポーツ性	22
室内空間および装備	
スポーティな雰囲気と好みに合わせた走行快適性	28
ドライバー・アシスタント・システム	
インテリジェントなテクノロジーで快適性と安全性を改善	32
表示および操作システム、コネクティビティ	
デジタル・サービスは、ドライバーと車両間の相互通信を支援するものです。 .	36

新型 BMW 2 シリーズ クーペ

市場導入時のモデル・バリエーション



BMW 220i クーペ:

直列 4 気筒ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション
排気量: 1,998cm³、最高出力: 135kW/184ps(5,000~6,500rpm)、
最大トルク: 300Nm(1,350~4,000rpm)、
加速性能[0~100km/h]: 7.5 秒、
最高速度: 236km/h、
WLTP に準じた燃料消費率(複合モード): 6.8~6.3l/100km、
WLTP に準じた CO₂ 排出量(複合モード): 155~144g/km、
排出ガス基準: ユーロ 6d

BMW M240i xDrive クーペ:

直列 6 気筒ガソリン・エンジン、8 速ステップトロニック・トランスミッション、BMW xDrive、
排気量: 2,998cm³、最高出力: 275kW/374ps(5,500~6,500rpm)、
最大トルク: 500Nm(1,900~5,000rpm)、
加速性能[0~100km/h]: 4.3 秒、
最高速度: 250km/h、
WLTP に準じた燃料消費率(複合モード): 8.8~8.1l/100km、
WLTP に準じた CO₂ 排出量(複合モード): 200~185g/km、
排出ガス基準: ユーロ 6d

BMW 220d クーペ:

直列 4 気筒ディーゼル・エンジン、48V マイルド・ハイブリッド・テクノロジー(8kW/11ps)、8
速ステップトロニック・トランスミッション、
排気量: 1,995cm³、最高出力: 140kW/190ps(4,000rpm)、
最大トルク: 400Nm(1,750~2,500rpm)、
加速性能[0~100km/h]: 6.9 秒、
最高速度: 237km/h、
WLTP に準じた燃料消費率(複合モード): 5.1~4.7l/100km、
WLTP に準じた CO₂ 排出量(複合モード): 132~122g/km、
排出ガス基準: ユーロ 6d

すべての走行性能、燃料消費率、排出ガスの値は暫定的なデータです。

記載されているすべてのモデル・バリエーション、装備範囲、主要諸元、燃料消費率および排出ガス値は、ドイツの自動車市場向けのもので、寸法に関するデータはドイツにおける基本装備車両に基づくものであり、選択されたホイール/タイヤの種類ならびに装着されたオプション装備によっては、構成に従って変動することがあります。

燃料消費率、CO₂ 排出量、電力消費率に関するデータは、規定の測定方式 VO(EU) 2007/715 (それぞれ有効な版) に従って測定されます。これらの値はドイツにおける基本装備の車両に対するもので、範囲はホイール/タイヤの種類および装着されたオプション装備による差異を考慮したものです。

すべての数値は、新しい WLTP テスト・サイクルに基づいて算出されています。WLTP の数値は、CO₂ 排出量に基づく税金およびその他の車両に関する料金の評価基準として利用され、また必要に応じて車両固有の補助金に関する目的の基礎として使用されます。WLTP および NEDC の測定方法に関する詳細については、www.bmw.de/wltp を参照してください。

新車に関する公式の燃料消費率、CO₂ 排出量、電力消費率に関する更に詳細な情報は「新しい乗用車の燃料消費率・CO₂ 排出量・電力消費率に関するガイドライン」(Leitfaden über den Kraftstoffverbrauch, die CO₂-Emissionen und den Stromverbrauch neuer Personenkraftwagen) に記載されています。この資料はすべての販売店、DAT (Deutschen Automobil Treuhand GmbH) (所在地: Hellmuth-Hirth-Str. 1, 73760 Ostfildern-Scharnhausen, Germany)、<https://www.dat.de/co2/> から無料で入手できます。

車両コンセプト

プレミアム・コンパクト・セグメントにおける運動性能の新たな次元



プレミアム・コンパクト・セグメントのモデルで特にエモーショナルなドライビング体験を求めるスポーツ指向のドライバーなら、迷わず BMW ブランドの製品プログラムに注目するはずで
す。新型 BMW 2 シリーズ クーペは、ブランド特有の駆けぬける喜びが特に凝縮されたモ
デルです。この 2 ドアのニュー・モデルは、先代モデルに比べ明らかに改善された運動性能
を特徴とし、このことは、極めて明確な新しい BMW デザイン手法による印象的なデザイン
にはっきりと現われています。若々しく颯爽とした外向的外観は、完璧にバランスのとれた
成熟した走行特性を兼ね備えています。新型 BMW 2 シリーズ クーペの車両コンセプトは、
敏捷性だけではなく、動きの激しい状況でも精密にコントロール可能なハンドリングを一貫し
て追及し、同セグメントにおけるスポーツ性能に対して新たな基準を打ち立てました。特に従
来型後輪駆動、競合車の中で唯一提供されている直列 6 気筒エンジン、そして卓越したス
ポータな特性に貢献する新しい装備ハイライトは、その先駆的位置づけを際立たせていま
す。

新型 BMW 2 シリーズ クーペのインテリアでは、現代的なスポーツ・カーの雰囲気と極めて
洗練された高級感が駆けぬける喜びをさらに高めてくれます。標準装備のスポーツ・シート
は、すべての基準で明らかに広くなったスペースをドライバーと同乗者に提供します。後席
には、シングル・シートの際立った特徴を有する 2 つのフル装備シートがあります。さらに、
大幅に拡張されたドライバー・アシスト・システムならびに操作性とネットワーク化の開発分
野における最新のイノベーションにも、先代モデルに対する進歩が反映されています。

グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードでのワールド・プレミア

2021年6月8日、英国のグッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードにおいて新型BMW 2シリーズ クーペのワールド・プレミアが行われました。迫力あるヒルクライムがハイライトの伝統的なモーター・スポーツ・イベントは、ダイナミックなコンパクト・モデルのデビューに相応しい舞台となりました。これに続いて、2021年9月にはミュンヘンで開催された国際モーターショー(IAA)においてBMWのニュー・モデルとして登場しました。市場導入は、2022年初頭に3つのモデル・バリエーションで開始されます。最上位モデルは、四輪駆動のBMW M オートモービル BMW M240i xDrive クーペです(WLTP に準じた燃費(複合モード): 8.8~8.1l/100km; WLTP に準じたCO₂ 排出量(複合モード): 200~185g/km)。このパフォーマンス・モデルは、275kW/374ps のパワフルな直列 6 気筒エンジンによって駆動されます。さらに、リヤ・ホイールを介して動力を路面に伝える 4 気筒ガソリン・エンジンおよび 4 気筒ディーゼル・エンジン搭載のモデル・バリエーションも用意されています。

新型BMW 2シリーズ クーペは、メキシコにあるBMWグループのサン・ルイス・ポトシ工場で生産されます。2019年に開設されたこの製造拠点では、内燃エンジンとプラグイン・ハイブリッド・ドライブを搭載した新型BMW 3シリーズ セダンも製造され、特に効率的で持続可能な生産プロセスが特徴になっています。例えばサン・ルイス・ポトシ工場は、BMW グループの国際的生産ネットワークにおいて、プロセス廃水をまったく出さずに作業可能な初めての塗装工場を備えています。

「2」の文字が示す伝統的な駆けぬける喜び

新型BMW 2シリーズ クーペの極めてスポーティなキャラクターは、寸法およびデザインから始まり、前後軸重量配分、ボディ構造、駆動技術およびサスペンション・システム、さらにはインテリア設計に至るまで、最大の駆けぬける喜びを目指してあらゆるディテールが徹底して最適化された車両コンセプトに基づいています。コンパクト・モデル用駆動コンセプトの選択ならびにエンジンとシャシー・コンポーネントの構成において開発者が念頭に置いたのは、高次の車両セグメントに属する特にスポーティなBMW モデルです。例えば、元々は新型BMW 4シリーズ クーペのために開発された新技術が、2ドアのコンパクト・カーでもモデル固有の仕様に変えて取り入れられています。すべての駆動およびシャシー・システムの統合アプリケーションでは、プレミアム自動車メーカーの長年にわたる経験が活かされました。BMW グループの試験場とニュルブルクリンクの北コースおよびその他のサーキットで行われた集中的な試験走行によって、新型BMW 2シリーズ クーペはその卓越した運動性能を獲得したのです。

新型 BMW 2 シリーズ クーペは、コンパクトであると同時に特にスポーティな車両でもあるという長い伝統を受け継いでおり、そのことがモデル名の「2」という数字に現われています。すでに 55 年前、BMW 1600 は、コンパクトな寸法、パワフルなエンジン、そして高性能サスペンション・システムで大きな注目を浴びました。2 ドアのボディを示唆するものとしてモデル名に追加された「02」という数字は、今日に至るまで、有名な「駆けぬける喜び」のシンボルとして世界中に知られています。1973 年に市場導入された 125kW/170ps のパワフルな BMW 2002 ターボは、当時、ターボ過給によって追加の動力を獲得する欧州初の量産車でした。

2004 年、プレミアム・コンパクト・セグメントに駆けぬける喜びの進化形が登場しました。競合車の中でも唯一の後輪駆動と、特に要求の高いエンジンおよびシャシー・テクノロジーによって、BMW 1 シリーズはスポーティさの代名詞となり、そのステイタスは 2007 年にシリーズに導入されたクーペの登場によってより強固なものになりました。

見紛うことのない独特なデザイン、エンジン・プログラムにおける独自のイノベーション、そしてモデル固有に調整されたサスペンション・システムは、2014 年に発表された BMW 2 シリーズ クーペの第一世代に個性的なキャラクターを与えました。コンパクトな 2 ドアの新バージョンは、さらに一歩先を進みます。まったく独自の車両コンセプトは、最新の前輪駆動アーキテクチャをベースにした BMW 1 シリーズのモデルとは明らかな差別化を実現しており、技術面では BMW 3 シリーズおよび BMW 4 シリーズの技術を幅広く借用しました。その結果、新型 BMW 2 シリーズ クーペは、ブランドのモデル・プログラムの中でも、そして競合車の中でも、極めて突出したポジションを占めています。

個性的なプロポーション、最適化された空力特性

高い運動性能に最適な前提条件は、新型コンパクト・スポーツ・カーの外部寸法によってすでに作られています。車両長 4,537 ミリメートルおよび車幅 1,838 ミリメートルは、先代モデルの寸法を 105 ミリメートルまたは 64 ミリメートル上回っています。これに対して車高は 1,390 ミリメートルと、28 ミリメートル低くなりました。新型 BMW 2 シリーズ クーペのパワフルでアスリートのような外観には、と 51 ミリメートル拡張されたホイールベース(2,741 ミリメートル)と大きなトレッド幅も貢献しています。フロント・アクスル 1,575 ミリメートル(+54 ミリメートル)およびリヤ・アクスル 1,587 ミリメートル(+31 ミリメートル)(BMW M240i xDrive クーペ:フロントで+63 ミリメートル、リヤで+35 ミリメートル)は、コーナリングでの高い運動性能に最適な前提条件を生み出します。

ラゲッジ・ルームの容量は 390 リッターです。目に見える基本的な形でのラゲッジ容量は 20 リッター拡大され、46 インチのゴルフ・バッグ 2 個が難なく収まります。標準装備で 40:20:40 に分割されたリヤ・シート・バックレストを倒すと、さらに長い荷物も余裕で積み込むことができます。ローディング・シルの高さは、先代モデルに比べ 35 ミリメートル低くなりました。

新型 BMW 2 シリーズ クーペのボディ・コンセプトには、運動性能と効率性の両方に有利に作用する空力特性を最適化する適切な措置も含まれています。BMW キドニー・グリルとフロント・エプロン下部インテークを 10 段階で必要に応じて調整するアクティブ・エア・フラップ・コントロール・システムを始めとして、エア・カーテン、面に組み込まれたドア・ハンドル、空力学的に最適化された軽合金ホイール、ほぼ完全に閉じられているアンダー・ボディ等により、空気の流れが適切にガイドされます。アンダー・ボディ内の補強溝の輪郭も流れの方向に適合されました。さらに、BMW M240i xDrive クーペには、アンダー・ボディのフロント・エリアにいわゆる案内羽根とスプリッターが装備され、空気を精密に誘導して揚力を軽減します。標準装備で 17 インチの軽合金ホイールを装着した新型 BMW 220i クーペおよび新型 BMW 220d クーペの空気抵抗係数(CD 値)は 0.26 であり、16 インチ・ホイールのみを装着した先代モデルよりも 0.02 ポイント改善されました。

インテリジェント・ライトウェイト構造が剛性と重量を最適化

新型 BMW 2 シリーズ クーペの敏捷性と効率性には、さらに、重量を最適化したボディおよびシャシー・コンポーネントの構造も貢献しています。インテリジェントなマテリアル・ミックスによる車両重量の最適化と、剛性および衝突安全性に対するボディ特性の改善とを両立させています。熱間成形された鋼種とアルミニウム合金からなる乗員保護空間は、多層鋼の追加的使用によって強化されました。

車体前部の重量を軽減するため、新型 BMW 4 シリーズ クーペと同様に、アルミニウム・ダイカスト・スプリング・サポートとアルミニウム押出型材からなるエンジン・サイド・メンバーが採用されています。新型 BMW 2 シリーズ クーペのエンジン・フードおよびフロント・サイド・パネルもまたアルミニウムで製造され、先代モデルに対するさらなる進化を実現しています。これだけでも、約 9.6 キログラムの重量削減が達成されました。

パッシブ・セーフティ分野の包括的コンセプトは、さまざまな形の衝突形態において最大の乗員保護性能を確保し、世界中の自動車市場に関係する衝突試験方法の要件が考慮されたものです。このコンセプトには極端に硬いパッセンジャー・セルと高強度負荷分散構造以外にセーフティ・エレクトロニクスも組み込まれているため、衝突の種類や度合いに応じてレストレイント・システムを正しい順序と最適なタイミング、そして必要な作用で作動させることができます。歩行者保護性能を最適化するため、新型 BMW 2 シリーズ クーペは、標準装備でアクティブ・エンジン・フードを装備しています。歩行者との衝突時にエンジン・フードが着火式アクチュエーターによって持ち上がることで、エンジン・フードとその下にある硬い構成部品との間により大きな変形空間を作ることができます。

デザイン

純粋な駆けぬける喜びを表現するアスリートのフォルム



新型 BMW 2 シリーズ クーペの特徴は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおける傑出したスポーツ性能です。BMW のモデル・プログラムの中でも、この 2 ドアは個性派としての役割を引き受けています。エンジン・ルーム、パッセンジャー・セル、ラゲッジ・コンパートメントの従来の 3 ボックス・デザインによるパワフルなプロポーションは、新型 BMW 2 シリーズ クーペの卓越した運動性能の可能性を示しています。ブランドの新しいデザイン手法で逞しく形作られた面とダイナミックなライン・ガイドは、純粋な駆けぬける喜びを表現したものです。さらに、その独特な車両キャラクターは、多数の類い希なデザインの特徴に現われています。これらの特徴は、特にダイナミックな走行特性を実現するための技術的要件と同時に、BMW のモデル・プログラムにおけるコンパクト車両のスポーティな伝統にも従っています。

新型 BMW 2 シリーズ クーペの室内空間は、スポーツ・カーの雰囲気と先代モデルに比べて明らかに洗練されたプレミアム感とが融合しています。ドライバー指向のコックピット・デザインは現代的解釈が加えられ、表示類および操作部の向きや配置が人間工学的に最適化されています。BMW コントローラー、セレクター・レバー、スタート/ストップ・ボタン、ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチ、その他の多数のファンクション・スイッチは、現代風にデザインされたセンター・コンソールの操作パネルにグループ化されました。高級素材、精密な加工、丁寧に作り込まれたディテールは、インテリアの品質が高いレベルにあることを物語っています。

個性的なデザインの BMW キドニー・グリルとヘッドライトを備える印象的なフロント

三次元的に形成された面、三角形の形状、対角線状のラインは、新型 BMW 2 シリーズクーペの車両フロントに卓越した表現力を与えています。下方へ深く入るフロント・エプロン、大きく外側へ配置されたヘッドライト、水平に合わせられた BMW キドニー・グリルは、フラットで幅広い印象を車両に与えます。ダイナミックなライン、大きく張り出したホイール・ハウス、エンジン・フード中央の力強く湾曲したパワードームは、ダイナミックな走行特性を明確に示しています。

BMW キドニー・グリルの新しいデザインも、新型 BMW 2 シリーズ クーペのパフォーマンス指向のキャラクターと密接に関連しています。従来のキドニー・グリル・バーに代わって、その内部にはエア・フラップが垂直に配置されました。これらのエア・フラップは電動式で、その後ろにあるエンジンの冷却要求が高まると開く仕組みになっています。水平に合わせられた BMW キドニー・グリルは一体形成のフレームで囲まれており、このフレームは標準装備がクロム仕様、BMW M240i xDrive クーペではセリウム・グレー、範囲の拡張された M ハイグロス・シャドー・ラインとの組み合わせではハイグロス・ブラックで塗装されます。六角形の下部フロント・エプロン・インテークの水平なクーリング・エア・フラップもオンデマンド制御式です。これは、ブレーキ・システムの冷却にも使用されます。フロント・エプロンの外側に取り付けられている三角形のインレイ(新型 BMW M240i xDrive クーペでは特に大きなデザイン)にはエア・カーテンが組み込まれ、走行風をホイールに沿って適切にガイドすることで、この部分での乱気流を軽減します。

新型 BMW 2 シリーズ クーペのもう 1 つのモデル固有のデザイン・エレメントは、表現力豊かな輪郭を備えるヘッドライト・ユニットです。BMW 02 シリーズの伝説的モデルに倣って、各ヘッドライト・ユニットには、フル LED 技術によってロー・ビームとハイ・ビームの両方に用いられる個別の丸形ヘッドライトが装備されています。その高品質の技術は、照明の暗い背景によって真価が発揮されます。ヘッドライトの下端部に取り付けられている U 字形ライト・ガイドはデイ・ランニング・ライトとして用いられ、ターン・インジケータもその中に組み込まれています。防眩処理されたハイビーム・アシスタント「BMW セレクティブ・ビーム」を備えるアダプティブ LED ヘッドライトもオプションで提供されます。そのコーナリング・ライト機能は、ステアリング角度だけではなく予測的にナビゲーション・データも考慮して、路面をできる限り適切に照射します。このアダプティブ LED ヘッドライトは、ゴールドのアクセント・トリム以外に、特にパワフルに実施されているデイ・ランニング・ライトおよびターン・インジケータ用ライト・ガイドによっても識別できます。アダプティブ LED ヘッドライトと組み合わせて、インレイを暗くした M ライト・シャドー・ラインもオプション装備として入手可能です。

サイド・ビュー：精密なライン、逞しい表面

長いエンジン・フード、短いオーバーハング、リヤ領域で力強く張り出したホイール・ハウスに支えられた埋込み型のパッセンジャー・セルは、新型 BMW 2 シリーズ クーペのブランド特有のプロポーショを形成しています。B ピラーの高さでダイナミックに下降するルーフ・ラインと、明確に張り出したエア・ティア・オフ・エッジに合流する短いラゲッジ・ルームとの組み合わせによって、BMW のコンパクト・クーペ特有の俊敏な 3 ボックス・デザインを見て取ることができます。明確で無駄のないデザイン手法は、ホイール・ハウスの力強く張り出した面を特に逞しく見せています。大きく前方へ突き出し、垂直に立つ BMW キドニー・グリルの配置もサイド・ビューで見ると一目瞭然です。

ヘッドライトから始まるショルダー・ラインは、サイド全体からテール・ライトまで精密にガイドされます。その明らかな特徴は、広いウィンドウ面を持つ独特のグリーンハウスと同様に、かつての BMW 1 シリーズ クーペを彷彿とさせます。サイド・ウインドウのデザインは、リヤ領域で BMW 特有のホフマイスター・キंकのクラシックな仕様で締めくくられています。第 2 のキャラクター・ラインは深い位置に置かれ、フロントとリヤのホイール・ハウスをつないでいます。大きく張り出したサイド・スカートと共に、このラインはドア部分において車両を特に軽快でコンパクトに見せることに貢献しています。

鮮やかな光と影の効果を持つパワフルなリヤ

新型 BMW 2 シリーズ クーペのリヤ・ビューは、水平に向けられた面によって構成されています。光と影が交互に変化する魅力的な効果によって、リヤを特にパワフルに見せることができるのです。コンパクトなヘッドライトと同様に、大きく外側へ配置されたスタイリッシュなダークのテール・ライトの輪郭も、凝縮されたスポーツ性を表現しています。その表面は、三次元的にモデリングされた光源によって形成されます。これにより、すべてのライト機能に使用されている LED 技術をさらに効果的に演出することができます。均等に光を発するテールライト・バーは、下方に向かって閉じる L 字形の新しい解釈です。このバーは、5 角形のブレーキ・ライト・ユニットの上方とサイドを囲んでいます。水平な LED ライト・ガイドは、テール・ライトの下方でターン・インジケータとして働きます。バック・アップ・ライトおよびリヤ・フォグ・ライトも同様にテール・ライトに組み込まれています。第 3 のブレーキ・ライトは、リヤ・ウィンドウの上方に配置されています。

上方へ大きく延びているマットブラックのリヤ・スカート・インサートはリフレクターに組み込まれており、スポーティな雰囲気強調しています。ガソリン・エンジン・モデルには、エグゾースト・テール・パイプの 2 ボード・ガイドが装備されています。リヤ・エプロンから左右に突出しているテール・パイプ・カバーは、BMW 220i クーペおよび BMW M240i xDrive クーペでは台形で実施されています。

新型 BMW 2 シリーズ クーペのボディー・カラーは、2 種類の単色と 6 種類のメタリック・カラーから選択できます。スポーティな 2 ドア限定でサンダー・ナイト・メタリックが新たに用意されました。

運動性能のための独立したアクセント:BMW M240i xDrive クーペとモデル M Sport

BMW M240i xDrive クーペには、固有のデザインの特徴によって6気筒エンジン・モデルのパフォーマンス特性を明確に示す卓越した外観が与えられています。フロント・エプロンの下部エア・インテークを取り囲む面は、BMW M車両特有のU字形グラフィックを有しています。ブラックのスポイラー・リップはフロント・エプロンを下方へ閉じています。BMWキドニー・グリルのエッジングと側面のエア・インテーク・ガードは、M固有のドア・ミラー・キャップ、テール・パイプ・カバー、モデル・エンブレムと同様にセリウム・グレーで実施。さらに、Mハイグロス・シャドー・ラインおよび19インチのMアロイ・ホイールがBMW M240i xDrive クーペの標準装備になっています。サイド・スカートは、リヤ・スカート・インサートと同様にブラック・ハイグロス仕上げです。ラゲッジ・ルーム・フラップ上に取り付けられているボディー・カラーと同色のM専用スポイラーおよびエグゾースト・テール・パイプ間のブラックのディフューザーが、リヤ領域のエア・ガイドを最適化します。ディフューザーの上部では、六角形に形成されたデザイン・エレメントがフロントの下部エア・インテークの輪郭を取り入れています。リフレクター内蔵のティア・オフ・エッジはリヤ・エプロンの外縁に垂直に配置され、BMW M車両のワイドでパワフルな姿形を強調しています。

その他のすべてのモデル・バリエーションにオプションで提供されるモデルM Sport 装備も、運動性能のための明らかなアクセントになります。これに特に貢献しているのは、サイドに大きなエア・インテークを備えるフロント・エプロンのパワフルな構造、Mハイグロス・シャドー・ライン、18インチの大きなMアロイ・ホイールです。サイド・スカートは、ディフューザー一体型のリヤ・エプロン下部エリアと同様にダーク・シャドー・メタリックで塗装されています。

インテリア: 駆けぬける喜びを思う存分味わえる場所

室内空間のデザインの方向性は、新型 BMW 2 シリーズ クーペの卓越したドライビング・エクスペリエンスにすべて向けられています。ルーフ・ライン後部の明確な下降、高いセンター・コンソール、インストルメント・パネルとドア・トリム・パネルとが調和的に移行する表面デザインは、包まれているような印象をドライバーと同乗者に与えます。イーजी・エントリー機能により、バックレストを折りたたむ際にフロント・シートがコントロールされながら前方へ移動するため、リヤへの乗車が楽になります。2 つのリヤ・スペースのシングル・シートは、輪郭と内蔵ヘッドレストの特性によってリア・シートの乗員もスポーティな駆けぬける喜びを堪能できるようになっています。

標準装備には、新たにデザインされたマルチ・ファンクション・スイッチを備えるスポーツ・レザー・ステアリング・ホイールが含まれています。同様に標準装備のドライバーと同乗者のスポーツ・シートは、ブラックのクロスとセンサテックを組み合わせた表面仕様になっています。新型 BMW M240i xDrive クーペおよびモデル M Sport との組み合わせでは、ブルーのコントラスト・シームで飾られたブラックのアルカンターラ / センサテック仕様が標準装備です。表面のオプションとして、3 色のセンサテック・パーフォレーテッド・バリエーションが用意されています。さらに、レザー装備「Vernasca」も提供されます。これは、標準装備のスポーツ・シートと組み合わせると 4 色が入手可能です。オプションの M スポーツ・シートの場合、2 色のレザー・カラーから選択します。

ドアおよびリヤ・トリム・パネルは、ダイナミックなラインによって構成されます。躍動感のあるデザイン・エレメントは、オプションの装備バリエーションではコントラスト・シームによってさらに輪郭が強調され、アーム・レストとトリム・パネル上部をつないでいます。このとき、三角形の面と斜めの線の組み合わせが室内空間にも取り入れられます。ドアのアーム・レスト上部にある台形のアクセント面は、新しいデザインの特徴です。オプションのアンビエント・ライトと組み合わせると、その多孔質表面がスタイリッシュにバックライトで照らされます。

新型 BMW 2 シリーズ クーペに初めて登場したダーク・グラフィット・マット仕様のインテリア・トリムも標準装備され、同様に高級感とスポーティな雰囲気にも貢献しています。代替として、アルミニウム・メッシュ・エフェクトとブラック・ハイグロスのバリエーションもオプションで入手可能です。新型 BMW M240i xDrive クーペとモデル M Sport のインテリア・トリムは、標準装備がハイグロス・ブラック仕様、オプションがアルミニウム・テトラゴン・バリエーション仕様になっています。これらの車両では、さらに M レザー・ステアリング・ホイール、センター・コンソールのクッション入りニー・パッド、アンスラサイト・カラーの M ルーフ・ライナー、M ロゴ入りエントランス・ストリップ、M ペダル、M ドライバー・フットレスト、M フット・マット、メーター・パネルの M 専用ビューが標準装備に含まれています。

サスペンション・システムと走行体験 驚きを生むパフォーマンスを徹底的に追及 した開発



新型 BMW 2 シリーズ クーペの開発プロセスで最初から一貫して重視されたのは、プレミアム・コンパクト・セグメントにおける最大の運動性能を競うレースでポール・ポジションを獲得することでした。コンパクトな寸法、ボディおよびサスペンション・システムのインテリジェント・ライトウェイト構造、50:50 の比率でほぼ完璧にバランス調整された軸荷重配分、最適化されたエアロダイナミクス特性は、極めてスポーティな車両キャラクターに最適な前提条件を提供します。新型 BMW 2 シリーズ クーペの敏捷性、精密なステアリング、コーナリング・ダイナミクスは、先代モデルと比べ明らかに向上しました。より大きなトレッド幅と適切に調整されたキャンバー角、最大 12 パーセント上昇したボディの静的ねじり剛性もこれに貢献しています。

さらに、新型 BMW 2 シリーズ クーペの車両コンセプトにおける中心要素は、リヤ・ホイールへの動力伝達あるいはインテリジェントな四輪駆動であり、新型 BMW M240i xDrive クーペでは明らかにリヤ・ホイールを強調したレイアウトになっています。どちらの場合も、この原則によって、伝統的なブランド特有の駆けぬける喜びを生み出すためにエンジンの動力が使用されるのです。さらにトップモデルの極めてスポーティなキャラクターは、敏捷性、精密性、運動性能の総合パッケージに基づいており、そこにはレーシング・スポーツで培った BMW M GmbH のノウハウが詰め込まれています。ここでは、直列 6 気筒エンジン、8 速ステップトロニック・スポーツ・トランスミッション、インテリジェントな四輪駆動、M スポーツ・ディファレンシャルを含むモデル固有のサスペンション・システムが相互に完璧にチューニングされています。

非常に高性能なサスペンション・コンポーネントは元々 BMW 3 シリーズと BMW 4 シリーズのモデル用に設計されたものであり、すべてのモデル・バリエーションにおいて常に卓越した走行特性を保証するものです。パフォーマンス特性が明らかに向上した一方で、日常使用や長距離走行で感じられる新型 BMW 2 シリーズ クーペの走行快適性は、先代モデルの実績あるレベルを維持しています。さらに、回転および音響の快適性は顕著に改善されました。

モデル固有のレイアウトおよびチューニングには、ダブルジョイント・スプリング・ストラット式フロント・アクスルと5リンク式リヤ・アクスルが採用されています。その設計原理は、標準装備の位置依存型ダンパーと同様に、ダイナミックな走行状況でも精密にコントロール可能なハンドリングと高い走行快適性に貢献しています。オプションで、可変スポーツ・ステアリングを含む M スポーツ・シャシーも提供されます。これは、新型 BMW M240i xDrive クーペのモデル固有のサスペンションのベースとしても用いられます。さらに、トップモデルには、標準装備で M スポーツ・ブレーキ・システム、M スポーツ・ディファレンシャル、19 インチの大型 M アロイ・ホイール(フロントとリヤで異なるサイズのタイヤ装着を含む)が装備されています。これに加え、オプション装備として、ハイ・パフォーマンス・タイヤと、電子制御式ダンパーを備えるアダプティブ M サスペンションも入手可能です。

すべての駆動システムとシャシー・システムの統合アプリケーションにより、エンジンの出力特性に合わせて、あらゆる状況で精密なコントロールが可能なハンドリング、優れたコーナリング・ダイナミクス、全気象条件および路面状況に最適に対応するトラクション、完璧にバランスの取れた走行快適性を実現しています。同時に、緻密なチューニングによって横方向加速力増加時のセルフステア特性と運動性能が最適化されるため、リヤ・ホイールへの動力伝達は、スポーティで野心的なコーナリングから卓越した制御が可能なドリフト走行に至るまで使用可能です。

重量を最適化したフロントおよびリヤ・アクスルならびにホイール・ベアリングの構造

高い部品剛性により、ダブルジョイント・スプリング・ストラット式フロント・アクスルは新型 BMW 2 シリーズ クーペの精密なホイール・ガイドを支援します。新型 BMW M240i xDrive クーペには補強ストラットが装備され、サイド・シルのフロント・アクスル・キャリアをサポートします。油圧ダンパー式プル・ストラット・ベアリングが振動や揺動を最小化します。アルミニウム製のアクスル・ガイドおよびピボット・ベアリングにより、ばね下重量が軽減されました。

また、5 リンク式リヤ・アクスルは、アクスル・キャリアとそのサスペンション・アームの極めて高い剛性によって精密なホイール・ガイドに貢献します。さらに二重弾性ベアリングも走行快適性を向上させます。鋼板とアルミニウム構成部品の組み合わせにより、リヤ・アクスルでもばね下重量が軽減されています。さらに、新世代ホイール・ベアリングの採用により、先代モデルに比べ重量が約 2.7 キログラム減少しました。さらに、この新しいホイール・ベアリングは摩擦を最大 45 パーセント削減することで、新型 BMW 2 シリーズ クーペの効率化に貢献しています。

モデル固有の特性を備えるストローク依存型ダンパー

新型 BMW 2 シリーズ クーペの標準装備サスペンション・システムは、ストローク依存型ダンパーを装備しています。このダンパーは、スプリングのたわみに応じて減衰作用を追加し、大きな起伏を乗り越える際にボディをコントロールし、過度に沈み込むのを阻止します。僅かな路面の凹凸ではシステムが低いダンパー力で反応し、快適性を高めます。さらに、追加の減衰作用により、コーナリングでの卓越した移行特性を実現します。

フロント・アクスルでは、ダンパーのインナー・スリーブに挿入されている追加エレメントが車体振動を補正します。リヤ・アクスルのストローク依存型制御は補助ピストンおよびはめ込まれたインナー・パイプによって行われ、大きな荷物を積んでいる場合でも最適な油圧ダンパーを確保します。このストローク依存型ダンパーは、アクティブな調整要素として役立ちます。その作りは、スポーツ性と快適性との間のバランスを思い通りに最適化できるようになっています。オプションの M スポーツ・サスペンションでは、ストローク依存型ダンパーとサスペンションが固めに調整されています。

スポーツ性と快適性の両立の幅をさらに広げるアダプティブ M サスペンション

新型 BMW M240i xDrive クーペにオプションで提供されるアダプティブ M サスペンションにより、スポーツ性と快適性を最大限に両立させることができます。M スポーツ・サスペンションの特徴は、電子制御ダンパーと組み合わされていることです。無段階調整可能なバルブにより、ダンパー力をホイール別に、しかも荷重状態に応じて制御することが可能になります。ドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチ・モードを切り替えることでダンパー特性を明らかに変化させることができます。COMFORT モードではバランスのとれた長距離快適性が得られ、SPORT PLUS モードではダイナミクスを重視した設定が可能になります。

アダプティブ M サスペンションと組み合わせると、追加のドライビング・パフォーマンス・コントロール・スイッチ・モードが使用できます。ADAPTIVE 設定では、ステアリング、ダンパー、アクセル・ペダル特性曲線、シフト・ダイナミクスが走行スタイルに自動的に適合します。さらに、制御装置はナビゲーション・データを利用して、交差点やカーブへの接近に合わせて予測的に車両を適合させることができます。

可変スポーツ・ステアリング:コーナリングでの敏捷性を向上させ、操車時の快適性を高める

モデル固有のアプリケーションにより、新型 BMW 2 シリーズ クーペのステアリング・システムは極めて高い精密性を提供します。標準装備には、車速感应式サーボトロニック・パワー・ステアリングを含む電気機械式ラック&ピニオンステアリングが含まれています。可変スポーツ・ステアリングは、M スポーツ・サスペンションとアダプティブ M サスペンションの一部を構成しています。それぞれのステアリング角度に応じた可変ギヤ比により、卓越した直進走行と敏捷なコーナリング特性を支援します。さらに、駐車、操車、進路変更を超低速で行う場合の操舵力が明らかに軽減されるため、非常に快適な操作が可能になります。

BMW 220i クーペおよび BMW 220d クーペの 2 つのモデルには、17 インチ・アロイ・ホイールが標準装備されています。18 インチの M アロイ・ホイール(フロントとリヤで異なるサイズのタイヤを装着)は M Sport モデルの装備範囲に含まれています。新型 BMW M240i xDrive クーペは 19 インチの M アロイ・ホイールを標準装備し、同様にフロントとリヤで異なるサイズのタイヤが装着されています。オプション・プログラムには、18 インチと 19 インチのさらなるアロイ・ホイールとハイ・パフォーマンス・タイヤが含まれます。さらに、M パフォーマンス・パーツには 18、19、20 インチのさらなるアロイ・ホイールが含まれ、提供内容が強化されました。ホイール固有のタイヤ空気圧インジケータは、センサーによって検知されたチャージ圧の値をコントロール・ディスプレイに表示させることができます。この機能は、選択されたホイールとタイヤの組み合わせに関係なく、新型 BMW 2 シリーズ クーペの標準装備に含まれています。

モデル固有に設計された M スポーツ・ブレーキ・システム、ブレーキ・キャリパーをブルーまたはレッドから選んで塗装

精密にコントロール可能なパフォーマンス特性をさらに向上させるのが、モデル固有に設計された高性能の軽量構造ブレーキ・システムです。オプションの M スポーツ・ブレーキ・システム(新型 BMW M240i xDrive クーペでは標準装備)は、市街地走行からサーキット走行まで、直観的な配分方式による優れたブレーキ性能を保証します。このシステムは、フロントの 4 ピストン固定キャリパーとリアのシングル・ピストン・フローティング・キャリパーによる独立した油圧設計で構成されています。ブルーに塗装されたブレーキ・キャリパーは M のロゴ付きです。ご要望に応じて、ブレーキ・キャリパーをレッドで塗装することも可能です。

DSC(ダイナミック・スタビリティ・コントロール)の機能範囲には、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)及びダイナミック・トラクション・コントロール(DTC)の他にさまざまな安定化機能と発進アシストが含まれます。このパフォーマンス・コントロールは、状況に応じて駆動トルクを適切にリア・ホイールに配分することで敏捷性を向上させます。左右のホイール間で摩擦係数の異なる路面で急ブレーキをかけたときの走行安定性を最適化するためにステアリング・パルスが用いられます。これは、適切な進路を維持できるようにドライバーをサポートします。その他、電子機械式パーキング・ブレーキの機能が、DSC システムを介してリアのブレーキ・キャリパーに統合されています。

BMW M240i xDrive クーペでは M スポーツ・ディファレンシャルを標準装備

新型 BMW M240i xDrive クーペの類い希なパフォーマンス特性は、特にパワフルな直列 6 気筒エンジンとインテリジェントな四輪駆動に加え、M スポーツ・ディファレンシャルを標準装備している駆動システムとサスペンション・システムのいわゆるトータル・パッケージによって生み出されます。ファイナル・ドライブの電子制御式フル可変ロック機能により、トラクションと走行安定性に加え、敏捷性とコーナリング・ダイナミクスも特に効果的に最適化します。

このシステムは、リア・ホイール間の回転数調整の制限をダイナミック・スタビリティ・コントロール(DSC)によって制御することで動力伝達を最適化します。これにより、スピーディなコーナリング走行でのアンダーステア傾向が抑制されます。このために、負荷の解除によってスリップ傾向にあるカーブ内側のホイールが路面に伝達できなくなった動力を、ブレーキ介入で中和するのではなく、カーブ外側のホイールに適切に移動させます。このようにして、すべての駆動トルクがスポーティな走行のために利用されるのです。このフル可変システムは、ゼロから 100 パーセントまでのロック率を達成できます。

ダイナミックな車線変更では、駆動トルクをホイール別に配分することによって走行安定性を最適化します。

同様に、新型 BMW 2 シリーズ クーペは、より高い駆動トルクの伝達によってカーブの出口で極めてダイナミックに加速することが可能です。連続するコーナリングでは、駆動力を適切に配分することで卓越した走行特性をさらに向上させます。この場合、M スポーツ・ディファレンシャルはリヤ・ホイールへの駆動力伝達能力を増加させます。このようにして、BMW xDrive システムのリヤ・ホイールを強調したレイアウトは、非常にダイナミックな走行状況においても安定性を維持することができるのです。これにより、新型 BMW M240i xDrive クーペでは、ブランド特有の駆けぬける喜びをとりわけ集中的に体験することが可能になります。さらに、M スポーツ・ディファレンシャルは、異なる摩擦係数を有する路面での発進時にトラクションを支援します。

エンジン、トランスミッション、そして BMW xDrive 6 気筒および後輪駆動による比類のない スポーツ性



新型 BMW 2 シリーズ クーペに搭載されている駆動ポートフォリオ最上位の直列 6 気筒エンジンは、同クラスでも類を見ない動力源です。新型 BMW M240i xDrive クーペの 3.0 リッター・エンジンの出力特性、高回転性、スムーズな回転は、プレミアム・コンパクト・セグメントにおけるスポーツ性を最大限に表現するという主張を裏付けるものです。新型 BMW 220i クーペと新型 BMW 220d クーペに搭載されている 2 つの 4 気筒エンジンもまた、効率性と運動性能の見事な両立を特徴としています。ここでは、リヤ・ホイールへの動力伝達が、競争車の中でも際立つブランド特有の駆けぬける喜びを保証します。新型 BMW M240i xDrive クーペのインテリジェントな四輪駆動もまた、そのリヤ・ホイールを強調したレイアウトにより、最大のトラクション、走行安定性、コーナリング・ダイナミクスと結びついて、ブランドのスタイルに特徴的な走行体験を提供します。

BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーの最新世代ならびに BMW 220d クーペにおける 48 ボルト・マイルド・ハイブリッド・テクノロジーの採用により、自然な出力増加ならびに最適化された燃料消費率と排出ガス値を実現しました。BMW 220i クーペの 4 気筒エンジンでは、エグゾースト・マニホールドを初めてシリンダー・ヘッドに統合した先進的なエンジン・テクノロジーと高度な排気ガス後処理システムにより、すべてのモデル・バリエーションが排気ガス規制「ユーロ 6d」に対応しています。新型 BMW 2 シリーズ クーペで使用可能な全エンジンは、標準装備で 8 速ステップトロニック・トランスミッションと組み合わせられます。高いシフト・ダイナミクスおよびローンチ・コントロールやスプリント・モードなどの追加機能により、とりわけ集中的なパフォーマンス体験が実現されます。

卓越したパワー:トップモデル BMW M240i xDrive クーペの直列 6 気筒ガソリン・エンジン

極めて活発な出力上昇は、新型 BMW M240i xDrive クーペで使用されるエンジンの特徴です。このトップモデルは、BMW ブランドのポートフォリオ内で最強の直列 6 気筒ガソリン・エンジンによって駆動されます。最高出力 275kW/374ps によって、新型 BMW M240i xDrive クーペの 3.0 リッター・エンジンは、先代モデルのパワー・ユニットを 25kW/34ps 上回っています。その最大トルク 500Nm は、1,900~5,000rpm の幅広い回転数範囲で使用可能です。

BMW M GmbH のレーシング・スポーツのノウハウによって開発されたエンジンは、クローズド・デッキ構造で設計されたアルミニウム製クランクケースおよび同様に軽合金で製造されたシリンダー・ヘッドを備えています。重量を最適化したピストンとコンロッドならびに鍛造された鋼製クランク・シャフトがエンジン内部の効率性を高めます。出力特性と効率性は、最新の BMW M ツイン・パワー・ターボ・テクノロジーによってさらに改善されました。このテクノロジーは、インテーク・マニホールドに統合された間接的チャージ・エア冷却を備えるツイン・スクロールターボ・チャージャー、最大圧力 350bar で作動する高精度ダイレクト・インジェクション・システム、ならびにフル可変バルブ制御システム「バルブトロニック」、可変カムシャフト制御システム「ダブル VANOS」(インテーク側とエグゾースト側)で構成されています。

特に高性能な冷却システムが、日常走行でも、極めてスポーティな走行スタイルでも、最適な作動温度を確保します。暖機特性を最適化するため、クランクケースの冷却はスプリット・クーリング・バルブによって一時的に遮断することができます。新型 BMW M240i xDrive クーペの直列 6 気筒エンジンは、フル・パワーで静止状態から 100km/h までを 4.3 秒で加速します。標準装備 M スポーツ・エキゾースト・システムは、エンジンの活発な出力上昇をエモーショナルなサウンド展開によって忠実に表現します。WLTP テスト・サイクルで調査された BMW M 車両の燃料消費量(複合モード)は、100 キロメートル当たり 8.8~8.1 リッターであり、該当する CO₂ 排出量は、1 キロメートル当たり 200~185 グラムでした。

最適化された 4 気筒ガソリン・エンジン搭載の BMW 220i クーペ

ツイン・スクロール・ターボ・チャージャーおよび最大 350bar で燃料を燃焼室へ噴射する高精度ダイレクト・インジェクション・システムを含む BMW ツインパワー・ターボ・テクノロジーの他に、新型 BMW 220i クーペの 4 気筒ガソリン・エンジンにも、エグゾースト・マニホールドを統合したシリンダー・ヘッドが装備されています。135kW/184ps のパワフルなドライブに初めて採用されたこの構成により、排気ガス特性を最適化する非常に効果的な排気ガス冷却が可能です。さらに、4 気筒ガソリン・エンジンにもクランクケース用のスプリット・クーリング・システムが装備されています。

2.0 リッター・エンジンの最大トルクは 300Nm です。これにより、0~100km/h を 7.5 秒で加速可能です。新型 BMW 220i クーペの平均燃料消費量は、100 キロメートル当たり 6.8~6.3 リッターであり、CO₂ 排出量は、1 キロメートル当たり 155~144 グラム (WLTP に準拠) となっています。

2022 年夏に、このモデル・プログラムには新型 BMW 230i クーペ (車両はまだ販売されていません。燃料消費量と CO₂ 排出量は未発表) が加わります。このモデル・バリエーションも、エグゾースト・マニホールドをシリンダー・ヘッドに統合した 4 気筒ガソリン・エンジンによって駆動されます。このエンジンは 180kW/245ps の最高出力と 400Nm の最大トルクを発揮します。特にパワフルな 4 気筒エンジンは、その駆動トルクを同様にリヤ・ホイールへ伝達します。ダイナミックな走行体験をさらに向上させるため、新型 BMW 230i クーペでは特に M スポーツ・ディファレンシャルがオプションで入手可能です。

2 段ターボ過給とマイルド・ハイブリッド・テクノロジーを装備した BMW 220d クーペの 4 気筒ディーゼル・エンジン

新型 BMW 220d クーペの 4 気筒ディーゼル・エンジンは、一貫した改良によって牽引力と効率性が先代モデルに比べて明らかに増加しました。2.0 リッターのパワー・ユニットは最大出力 140kW/190ps と最大トルク 400Nm を発揮し、今回、2 段ターボ過給システムと改良型コモンレール式ダイレクト・インジェクションが採用されています。さらに、マイルド・ハイブリッド・テクノロジーは、該当する走行状況においてディーゼル・エンジンを支援し、エンジンの負荷を軽減します。そのために、48 ボルト・スターター・ジェネレーターが電気駆動の役割を引き受け、8kW/11ps の追加出力を提供します。この電氣的ブーストにより、静止状態からの加速時や一時的に加速する場合にダイナミックなレスポンスが向上します。新型 BMW 220d クーペは、静止状態からの時速 100km へ 6.9 秒で加速します。

マイルド・ハイブリッド・システムにより、ブレーキ・エネルギー回生システムによって発電され、補助バッテリーに蓄電される電気を特に集中的に使用することも可能です。この電気は電氣的追加駆動に使用する他に、新型 BMW 220d クーペに搭載されている電装品を特に効率的に作動するためにも使用されます。WLTP テスト・サイクルでの燃料消費率および CO₂ 排出量(複合モード)は、100 キロメートル当たり 5.1~4.7 リッター、および 1 キロメートル当たり 132~122 グラムです。

新型 BMW 2 シリーズ クーペの全モデル・バリエーションに標準装備:8 速ステップトロニック・トランスミッション

各エンジンの駆動トルクは、新型 BMW 2 シリーズ クーペの全モデル・バリエーションに標準装備されている 8 速ステップトロニック・トランスミッションに伝達されます。このオートマチック・トランスミッションの最新仕様は、向上したシフト・ダイナミクスと効率性、特にスピーディなシフト・チェンジ、高いシフト快適性が特徴的です。スポーツ性と効率性に関して最適なシフト戦略を実現するため、トランスミッション制御は、ナビゲーション・システムやドライバー・アシスト・システムから提供されるルート・プロファイルおよび交通状況に関するデータも考慮することができます。これにより、連続するコーナリングでの不要なシフト・プロセスを回避し、例えば交差点や前走車に接近する際には早期にシフト・ダウンして、エンジン・ブレーキ・トルクを減速に使用できるようにします。

8 速ステップトロニック・スポーツ・トランスミッションは、新型 BMW M240i xDrive クーペの標準装備です。その他のすべてのモデル・バリエーションではオプションで入手可能であり、極端にダイナミックな走行を支援します。ステアリング・ホイールに取り付けられているパドル・スイッチの他に、ローンチ・コントロール機能も提供され、最大の運動性能によって静止状態からトラクションを最適化した加速を可能にします。さらに、抜群のスパートを實現するために、スプリント機能も使用可能です。このために、ドライバーが左のシフト・パドルを 1 秒以上引くと、使用可能なもっとも低いギヤに自動的に切り替わります。同時に、すべての駆動システムとシャシー・システムがスポーツ性を最大化する設定になります。

BMW xDrive: 精密に制御される動力配分で、最適なトラクション、最大の敏捷性、ブランド特有の駆けぬける喜びを実現

新型 BMW M240i xDrive クーペでは、インテリジェントな四輪駆動が、トラクション、走行安定性、敏捷性を向上させます。トランスファ内にある多板クラッチの電子制御が駆動システムとシャシー・システムとにネットワークで接続されていることにより、システムは、必要に応じていつでもフロント・ホイールとリア・ホイール間で駆動トルクを配分できます。したがって車両のオーバーステアまたはアンダーステアの傾向は、もうその初期の段階でシャット・アウトされます。

後輪を強調した BMW xDrive システムのレイアウトは、コンパクトな BMW M 車両の効率性と走行力学的特性の両方を最適化します。四輪駆動を必要としない走行状況では、直列 6 気筒エンジンの動力はすべてリア・ホイールに送られます。さらに、この適合機能は、新型 BMW M240i xDrive クーペに同じく標準装備されている M スポーツ・ディファレンシャルと共に、特にダイナミックな走行スタイルにおいても BMW 特有のパフォーマンス体験を提供します。駆動トルクを高い割合でリア・アクスルに適切に伝達し、リア・ホイール間の動力配分をフル可変で行うことにより、カーブでの敏捷なステアリングに加え、ダイナミックなセルフステア特性も最適化されます。

室内空間および装備 スポーティな雰囲気と好みに合わせた走行快適性



新型 BMW 2 シリーズ クーペのエクステリア・デザインは抜群にスポーティなキャラクターが一目で分かりますが、室内空間ではそれを一瞬にして肌で感じることができます。標準装備されているスポーツ・シートの深いシート・ポジション、インストルメント・パネルとドア・トリム・パネルのダイナミックなライン・ガイド、ドライバー指向の Cockpit デザイン、同じく標準装備されているスポーツ・ステアリング・ホイールは、エンジンを始動する前からすでに圧倒的な走行体験に対する期待感を高めてくれます。新しい複合インジケータの構成部品であるコントロール・ディスプレイの配置、特にスリムなルーム・ミラー・フレーム、ルーフ領域にフラットに一体化された操作ユニットは、前方への視界を最適化し、それによって開放感も高まります。

アクティブな駆けぬける歓びをひたすらに追求する新型 BMW 2 シリーズ クーペの特徴は、標準装備ですでに明確に表現されています。このことは、新型 BMW M240i xDrive クーペが持つスポーツ・カーの雰囲気と特によく現われています。コンパクトな 2 ドアの車両コンセプトの中心にあるスポーツ性は、装備ラインの製品構成でも明らかです。新型 BMW 220i クーペと新型 BMW 220d クーペでは、標準装備に代わるモデル M Sport も提供されます。さらに補足として、M Sport パッケージ・プロも入手可能です。また、新型 BMW 2 シリーズ クーペの市場導入時には、M パフォーマンス・パーツ・プログラムからモデル専用の後付けオプションも選択できます。

M スポーツ・シートおよび M レザー・ステアリング・ホイールによる集中的な駆けぬける喜び、電動式シート調整によるさらなる快適性

それとは別にオプション装備のプログラムには、駆けぬける喜びの他にも、新型 BMW 2 シリーズ クーペの快適性、機能性、そして個々のスタイルをお客様のご要望とニーズに正確に適合できる多数のオプションが含まれています。ドライバーと同乗者用の標準装備スポーツ・シートは、高い長距離快適性だけでなく、ダイナミックなコーナリング時の優れた横方向のホールディングも提供します。シート・ヒーターもオプションで提供可能です。

さらに、オプション装備として、運転席側のメモリー機能付き電動調整式スポーツ・シートも提供されます。ボタンを押すことで、シートの前後方向、傾き、高さ、バックレストの幅と傾きを調整できます。操作快適性を最適化するため、調整中にシート・コンポーネントの動きがグラフィックでコントロール・ディスプレイに表示されます。その他のオプションとして、非常に特徴的な輪郭と一体型ヘッドレストを備える M スポーツ・シートも入手可能です。このシートにも電動調整機構が装備されており、追加でヘッドレストの高さも調整することができます。

標準装備のスポーツ・ステアリング・ホイールの最新仕様には、特にハイ・クオリティなデザインのマルチ・ファンクション・スイッチが装備されています。オプションでは、個性的な 3 スポーク・デザインとステアリング・ホイール・ヒーターを装備した M レザー・ステアリング・ホイール (BMW M240i xDrive クーペでは標準装備、モデル M Sport と併用) が用意されています。

防音ガラスおよび 3 ゾーン・エアコンを標準装備したフロント・ウインドウ、オプションでガラス・スライド・ルーフとアンビエント・ライトが入手可能

新型 BMW 2 シリーズ クーペは、フロント・ウインドウ用防音ガラスならびに自動ドライビング・ライト・コントロールを含むレイン・センサーを標準装備しています。ウォッシャー液ノズル内蔵のウインドウ・ワイパー・アームにより、あらゆる車速でウォッシャー液を特に均一に配分することが可能です。電動調整可能なヒーター付きドア・ミラーも標準装備に含まれています。オプションで、ドア・ミラーの自動折りたたみ機能および自動防眩ルーム・ミラーが用意されています。

3 ゾーン・エアコンも標準装備です。このエアコンは、温度と風量を運転席側と助手席側で、さらに後席でも個別に調節することができます。

オプションのガラス・サンルーフの新しい仕様は、透過面が先代モデルと比べて 80 ミリ延長され、全体としてほぼ 20 パーセント拡張されました。電気駆動により、ガラス・ルーフを外に出したり、完全に開けたりすることもできます。

標準装備の LED 室内照明には、フロントおよびリヤの読書灯とインテリア・ライト、グローブ・ボックス、センター・アーム・レスト下の小物入れ、フット・スペース、サンバイザー・ミラー、ラゲッジ・ルームの照明、そしてドア出口ランプがあります。オプションのアンビエント・ライトは特に雰囲気の良いインテリア照明を提供し、ドア・トリム・パネルのマップ・ポケットや装飾エレメント、ドア・オープナー、フット・スペース、センター・コンソール、ギヤ・セレクター・スイッチ前の収納部を精密に照らします。照明の光の配分、明るさ、色合いは iDrive メニューで設定が可能です。機能範囲には、電話の着信ならびにエンジン作動時に開いているドアをパルス信号で知らせるダイナミック・インテリア・ライトも含まれています。

新型 BMW 2 シリーズ クーペでは、取外し可能なトレーラー・カップリングもオプション装備で入手可能です。許容牽引荷重は、全モデル・バリエーションで最大 1,600 キログラムです。

コミュニケーションおよび音楽を好みに応じてカスタマイズ:Bluetooth および USB インターフェイス、「ハーマン・カードン・サラウンド・サウンド・システム」

新型 BMW 2 シリーズ クーペでは、Bluetooth インターフェイスおよび 2 箇所の USB 接続端子を標準装備しています。ワイヤレス充電機能を備えたオプション・テレフォニーは、対応するスマートフォンの誘導充電を可能にします。

標準装備の BMW ライブ・コックピットには、6 つのスピーカーと出力 100 ワットのオーディオ・システムが含まれます。オプションの HiFi スピーカー・システム(BMW M240i xDrive クーペでは標準装備)により、音源の数を 10 に増やし、アンプ出力を最大 205 ワットに拡張することができます。「ハーマン・カードン・サラウンド・サウンド・システム」は、16 個のスピーカーと出力 464 ワットの 7 チャンネル・デジタル・アンプを搭載し、最高のサウンド・クオリティを提供します。

運動性能をカスタマイズ:M Sport パッケージ・プロと M パフォーマンス・パーツ

新型 BMW 220i クーペと新型 BMW 220d クーペの M Sport モデルにだけ用意されているデザインと装備の特徴は、駆けぬげる喜びを表現する明確なアクセントです。これを補足するものとして、さらに M Sport パッケージ・プロが提供されます。M スポーツ・ブレーキ・システム、19 インチの M アロイ・ホイール、範囲を拡張した M ハイグロス・シャドー・ライン、M ライト・シャドー・ライン、ブラックのフロント・スポイラー・リップ、ブラックの M リヤ・スポイラーによって、最適化された運動性能と卓越した外観が生まれます。また、室内空間のスポーティなサウンド調整、8 速ステップトロンニック・スポーツ・トランスミッション、HiFi スピーカー・システム、M シート・ベルトによって、駆けぬげる喜びがさらに高まります。

新型 BMW 2 シリーズ クーペに提供される M パフォーマンス・パーツによって、スポーツ性を個別にカスタマイズすることができます。BMW の純正アクセサリ・プログラムで入手可能な後付けオプションには、Y スポーク・デザインの 20 インチ M パフォーマンス軽合金鍛造ホイール、M パフォーマンス・ブレーキ・システム、フロントスポイラー、サイド・スカート・アタッチメント、ドア・ミラー・キャップ、リヤ・ディフューザー、リヤ・スポイラー、カーボン仕様テール・パイプ・カバーが含まれています。特に M パフォーマンス・ステアリング・ホイールとカーボン仕上げのインテリア・トリムが、インテリアの特にスポーティな雰囲気醸し出しています。

ドライバー・アシスタント・システム

インテリジェントなテクノロジーで快適性と 安全性を改善



安全性と快適性を向上させるため、新型 BMW 2 シリーズ クーペでは、先代モデルと比べてドライバー・アシスト・システムの選択肢が大幅に拡張されました。標準装備またはオプションで入手可能な自動化されたアシスタント機能は、市場でもトップ・クラスに属するものです。これらの機能は、多くの走行状況や駐車時にドライバーをサポートし、ドライバーの負荷を軽減します。

新型 BMW 2 シリーズ クーペに採用されているドライバー・アシスト・システムは、カメラ画像ならびに超音波センサーおよびレーダー・センサーから収集されたデータを処理して、車両周辺を監視し、危険がある場合には警告を発し、ブレーキやステアリングに介入することで事故のリスクを最小限に抑えます。既存の機能の改善や拡張は、リモート・ソフトウェア・アップデートによって行われます。さらに、オンデマンド機能によって、選択した機能を後から契約し、搭載することもできます（車両に取り付けられているハード・ウェアと市場条件によっては利用できない場合もあります）。

正面衝突警告、スピード・リミット・インフォ、レーン・ディパーチャー・ウォーニング(車線逸脱警告システム)を標準装備

BMW 2 シリーズ クーペには正面衝突警告システムが標準装備されています。機能範囲には、動いている車両にも停止している車両にも反応するブレーキング機能付き衝突警告システム、ブレーキング機能付き歩行者および自転車検知警告システムが含まれます。標準装備のさらなる構成要素は、追い越し禁止表示を含む交通標識認識スピード・リミット・インフォです。

車速 70~210km/h で機能するレーン・ディパーチャー・ウォーニング(レーン・フィードバック付き)も標準装備されています。これは、意図せずに車線を逸脱しそうになると、ステアリング・ホイールを振動させてドライバーに警告するシステムです。ステアリング・パルスは、正しいコースに戻る際にドライバーを支援します。今回のシステムでは、個々の道路状態をさらに正確に分析できるようになりました。特に細い道ではコース修正時のサポートが抑制され、対向車線のドライバーが外側の道路脇を快適に走行できるようにします。

快適性と安全性にフォーカスしたプラス機能:ドライビング・アシスタントとストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロール

オプションのドライビング・アシスタントに含まれる機能には、バック運転時に見通しの悪い路面での衝突の危険を減らす、リヤ衝突警告と交差交通警告があります。複数車線道路では追い越し時の安全を向上させるため、レーン・チェンジ・ウォーニング(車線変更警告システム)がサポートします。この警告システムは、隣のレーン上を危険な間隔で走る車両や後方から高速で接近する車両を検知してドライバーに注意を促します。警告はドア・ミラーの点滅するシグナルで行われます。

長距離でのリラックスしたドライブは、標準装備されたブレーキング機能付きクルーズ・コントロールで高まります。これは、30km/h からモデル別最高速度までの範囲でドライバーが選択できる希望速度を常時維持する機能で、カーブでは自動的に快適な車速に調整されま

す。オプションのストップ&ゴー機能付きアクティブ・クルーズ・コントロールは、さらに総合的なサポートを提供し、優先速度に加えて4段階で選択可能な前走車からの安全距離の自動維持のため、カメラ・センサー・データとレーダー・センサー・データを使用します。このシステムは車速30~160km/hで機能し、必要に応じて車両を減速して停止させます。最大30秒の中間停止後、システムは自動的に再発進することが可能です。

標準装備とオプションのクルーズ・コントロールの両方に、それぞれ手動スピード・リミット・アシストが含まれています。この機能により、ボタンを押すことで交通標識検知によって認識された制限速度が新しい希望車速として適用できるようになります。

BMW 2 シリーズ クーペに初めて搭載:BMW ヘッドアップ・ディスプレイ

BMW 2 シリーズ クーペに初めてオプション装備として提供される BMW ヘッドアップ・ディスプレイは、集中的で安全な駆けぬける喜びに大きく貢献します。走行に関連する情報はフロント・ウインドウ上のドライバーが認知できる視界にグラフィックで直接投影されるため、ドライバーは車線から視線を逸らす必要がありません。システムの最新世代は非常に広い投影面と、すべての色スペクトルをカバーするグラフィック表示を有しています。中でも、BMW ヘッドアップ・ディスプレイは、走行速度、制限速度、追い越し禁止、チェック・コントロール・メッセージ、アシスタント・システムのステイタス表示と警告、詳細なルート・ガイドと進路変更指示、さらには電話番号およびエンターテイメントのリストなどに関するデータを映し出します。

アクティブ・クルーズ・コントロールと組み合わせると、BMW ヘッドアップ・ディスプレイで車間距離警告システムが使用可能になります。これは、前走車までの最小車間距離を下回ると、グラフィック・シンボルによってドライバーに知らせる機能です。

駐車と操車時のカスタム・サポート:リヤ・ビュー・カメラ、バックアップ・アシスタント、パーキング・アシスタント・プラス

新型 BMW 2 シリーズ クーペのドライバーは、駐車と操車の際にもフロントおよびリヤのセンサーを使って、例えばオプションのパーク・ディスタンス・コントロール (PDC) から有効なサポートを得ることができます。オプションのパーキング・アシスタントの機能範囲には、視覚的・聴覚的に注意を促すだけでなく、車両のサイドおよびリヤ領域での障害物との衝突防止に役立つ自動ブレーキ介入も行うアクティブ・パーク・ディスタンス・コントロール (PDC) が含まれます。さらにパーキング・アシスタントには、テールゲートの BMW エンブレムに組み込まれているリヤ・ビュー・カメラが含まれています。

最新仕様では、パーキング・アシスタントの適用範囲がさらに拡大されました。路面に平行または横向きに配置されている駐車スペースを選択して使用する際に、ドライバーをサポートします。その他に、路面に平行な駐車スペースから出る際にも利用可能です。このパーキング・アシスタントは、ステアリング操作以外に、加速やブレーキ操作、操車時に必要なギヤ・チェンジも引き受けます。

さらに、バックアップ・アシスタントもパーキング・アシスタントの中に含まれています。これにより、立体駐車場や中庭の入口など、狭くて見通しの悪い場所でも 50 メートル以内の距離であれば自動でバックできるため、非常に快適です。ドライバーはアクセル・ペダルとブレーキ・ペダルを操作し、周囲の監視に集中するだけで済みます。

オプションのパーキング・シスタント・プラスに含まれている機能は完璧な視界を提供します。サラウンド・ビューを使って、上面ビュー、パノラマ・ビュー、3D ビューなどが、車両の 360 度表示とその周囲をさまざまな視点でコントロール・ディスプレイに表示します。さらに、リモート 3D ビュー機能を使えば、車両および車両周辺の三次元ライブ画像をスマートフォンに伝送させることも可能です。

パーキング・アシスタント・プラスとの併用で入手可能な BMW ドライブ・レコーダーはドライバー・アシスタント・システムのカメラを使って車両周囲のビデオ画像を録画・保存し、それらを車両の停止中にコントロール・ディスプレイで再生したり、USB インターフェースを経由してエクスポートしたりすることができます。このようにして、ドライバーは、走行中の特に素晴らしい風景や見る価値のある運転操作を 40 秒以内でビデオに録画できます。事故の場合、衝突の前と後それぞれの最大 20 秒間の録画、つまり合計 40 秒間が保存されます。

表示および操作システム、コネクティビティ デジタル・サービスは、ドライバーと車両間 の相互通信を支援



BMW 2 シリーズ クーペでは、すでに標準装備で直感的操作の拡張オプションおよび BMW オペレーティング・システム 7 に接続されている革新的なデジタル・サービスもドライバーと歩行者の安全に寄与します。個別に設定可能な表示内容およびインテリジェントなネットワーク化によって、マルチ・モードが可能になり、ドライバーと車両間の集中的な相互通信も可能になります。状況に応じて、ユーザーは、コントロール・ディスプレイでのタッチ操作、実績のある BMW コントローラー、ステアリング・ホイールのマルチ・ファンクション・スイッチ、ボイス・コントロールの中から選択します。さらに、新型 BMW 2 シリーズ クーペでは、特に先進的なデジタル・サービスも利用可能です。これに含まれるのは、特に BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント、BMW デジタル・キー、危険警報を含むリアル・タイム・トラフィック・インフォメーション、コネクテッド・ミュージック、リモート・ソフトウェア・アップグレードなどです。

標準装備の BMW ライブ・コックピットには、タッチ機能付き 8.8 インチ大型コントロール・ディスプレイを装備した iDrive 操作システムおよび 5.1 インチ・カラー・ディスプレイを中央に搭載したブラック・パネル・ルックのメーター・パネル、マルチメディア・システム、Bluetooth インターフェース、2 つのデータ伝送用 USB 接続端子が含まれます。4G LTE 対応の内蔵 SIM カードおよび同様に標準装備のコネクテッド・パッケージにより、BMW テレサービス、インテリジェント・エマージェンシー・コール、アプリ「My BMW」によるリモート・サービスなどのデジタル・サービスの利用が可能になります。オプションの BMW ライブ・コックピット・プラスを注文すると、ナビゲーション・システムおよび WLAN インターフェースが追加されます。さらに、BMW コントローラーは、タッチ・センサー面への文字入力を可能にするタッチ機能を備えています。

オプションの BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルは、完全デジタル化複合インジケーターを提供します。これは、ステアリング・ホイールの後ろに取り付けられている画面サイズ 12.3 インチの高解像度メーター・パネルならびに 10.25 インチのコントロール・ディスプレイで構成されます。コックピットのフル・デジタル・インストルメント・ディスプレイには、ナビゲーション・マップ部分、ドライバー・アシスト・システムのメディア・コンテンツまたはステイタス表示のためのスペースが用意されています。

スピーディで精密、有益なナビゲーション・システム BMW マップス

クラウド・ベースのナビゲーション・システム BMW マップスにより、パフォーマンスが顕著に改善することに加え、高い精密性と目的地入力の簡便化が可能になります。この新世代ナビゲーション・システムは、短いインターバルで送信される精密なリアルタイム交通データをベースにした、非常にスピーディで動的なルート計算を提供します。全ルートに沿った通常の交通量を計算に含めることで、到着時刻を予測的に計算します。目的地の選択は、フリー・テキスト入力によって行うことができます。検索結果は、関連性の高い順に正確に並べられます。または、目的地を音声言語で入力することも可能です。ルート上のいわゆる Points of Interest (POI) は、特に、評価、営業時間または写真付きで詳細に説明されません。

さらに、BMW マップスは、コネクテッド・パーキングによって、目的地近くの空いている駐車場を探す際にドライバーを支援します。予想到着時刻における目的地の駐車場状況は、目的地を選択する際にすでにドライバーに表示されます。到着する少し前には、最寄りの駐車場に関する情報だけでなく、目的地近くの駐車場を見つける可能性が特に高いルート提案なども同様に役立ちます。On-Street Parking Information や ParkNow などのすでに知られているサービスは、BMW マップスの機能範囲にインテリジェントに統合されます。

スマートフォン接続および第三者によるサービスの統合

BMW ライブ・コックピット・プラスには、BMW ライブ・コックピット・プロフェッショナルと同様に、Apple CarPlay などによる最適化されたスマートフォン統合も含まれています。これによって、デジタル音声サービス Siri、さまざまなマップ・アプリ、Apple Music などの音楽ストリーミング・サービスやメッセージ・サービス WhatsApp など多数のデジタル・サービスの利用が可能になります。それぞれのスマートフォンと車両を WLAN でワイヤレス接続すれば、これらのシステムが表示および操作システムに直接統合されます。そこで提供されるアプリの重要な情報はすべてコントロール・ディスプレイ上に表示される他、ドライバーは、インテリジェントに処理された形でメーター・パネルでも、またオプションのヘッドアップ・ディスプレイでも見ることができます。

Android Auto™により、BMW グループはシームレスな車内ネットワーク化の範囲をさらなる顧客関連サービスによって拡張しました。BMW の Android Auto は、音楽、メディアまたはメッセージ・アプリなどのスマートフォン機能を走行中に簡単かつ安全に利用できるようにするものです。ユーザーは Google アシスタントを使ってスマートフォンと交流することができ、実行されたアクションは車両のインフォ・ディスプレイに表示されます。Android Auto と BMW の相互作用におけるハイライトは快適なワイヤレスによるネットワーク化であり、さらには Google マップ™のナビゲーション情報を BMW ヘッドアップ・ディスプレイにインテリジェントに統合したことです。

アプリ「My BMW」は、40 カ国以上において、iOS および Android オペレーション・システム用に提供されており、Apple アプリ・ストアや Google Play ストアから無料でダウンロードできます。車両への新しい汎用インターフェースとして、車両状態に関する情報はこのアプリからいつでも確認することができます。装備によっては、さらに、自車位置検出、ドアのロックおよびロック解除または車両周辺の記録(リモート 3D ビュー)など、リモート・アクセスによる機能も可能になります。また、特に目的地のアドレスをスマートフォンから車両のナビゲーション・システムに送信することも可能です。アプリ「My BMW」により、お客様個人の BMW ID を使って現行のすべての BMW モデルへのログインがさらに簡単になります。例えば、BMW ID に保存されているユーザー・インフォメーションおよびユーザー設定は、中央スクリーンに表示される QR コードのスキャンによっても車両に伝送できます。

Amazon Alexa のより進んだ統合により、お客様がすでに家で使い慣れているのと同じように、車内で Amazon の音声サービスを利用することが可能です。買い物リストの編集、メッセージの呼び出しや音楽再生がこれによってさらに簡単になります。また、互換性のあるスマート・ホーム・デバイスの制御も車両から可能です。アプリ「My BMW」を使えば、Amazon Alexa を僅かなステップで車両にインストールできます。

オプションの BMW デジタル・キーにより、近距離無線通信(NFC)を介してアップル社の iPhone から新型 BMW 2 シリーズ クーペをロック解除およびロックすることができます。これにより、従来の車両キーは不要になります。スマートフォンをドア・ハンドルに近づけるだけで、車両を開けることができます。車内では、スマートフォンをワイヤレス・チャージング・トレイの中に置けば、すぐにエンジンをスタートすることが可能です。このデジタル・キーは、アプリ「My BMW」を介して設定できます。車両の所有者は、さらに最大 5 人のユーザーとアクセス権を共有できる他、特に最高速度とエンジン出力ならびにラジオの最大音量を制限する運転初心者用設定のオプションも含まれています。

機能が拡張された BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタント

最新世代の BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントにより、新型 BMW 2 シリーズ・クーペではドライバーと車両間の結びつきがさらに強まります。ボイス・コントロール(例えば「Hey BMW」)やボタン操作によって作動するデジタル・コンパニオンは、常にその能力を高めていきます。自然な話し言葉による指示を使って、今やエア・コンディショナーも制御可能になりました。さらに、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、特定の状況で快適性を向上させたり、駆けぬける喜びを向上させたりするルーチンを学習することができます。このようにして、例えば、選択された、GPS 座標で特定された場所(例えばガレージや駐車場入口など)に到着すると、運転席側のサイド・ウインドウを自動的に開けることが可能になります。

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントの利用は、システムの双方向的性質を強調する新しいグラフィック・シンボルによってコントロール・ディスプレイ上でガイドされます。表示されるグラフィックは、アクティブな話し手の方向に「傾き」、そのようにして音声入力中にシステムが「傾聴」していることを視覚的に表現します。このシステムは、ドライバーまたは同乗者がシステムに話しかけていることを検知し、それに応じて反応し、例えば片側だけエアコンの調整を変更したりします。

常に最新の状態を維持: リモート・ソフトウェア・アップグレードによる更新「オーバー・ジ・エア」

BMW グループは、機能的な「オーバー・ジ・エア」アップグレードの分野で中心的立場にある企業の 1 つです。すでに 2020 年、BMW グループは欧州の自動車メーカーとして最大のアップグレード・キャンペーンを行っています。リモート・ソフトウェア・アップグレード機能により、BMW 2 シリーズ クーペは、常に最新のソフトウェア状態が確保されます。このアップグレードには、新しいサービスから車両機能の改善に至るまで、さまざまな内容を含むことが可能です。すべての更新は「オーバー・ジ・エア」で、アプリ「My BMW」を介してスマートフォンへ、または車両に取り付けられている SIM カードを介して車両へロードすることができます。さらに、インテリジェントなネットワーク化は、追加の車両機能を後から車両に統合するオプションも提供します。